

説明文の読み方 基本4ステップ【解答】

名前 _____

解答

基礎

説明文の読み方 4ステップ

①

指示語

何を指す？



②

接続語

前後はどんな関係？



③

段落の役割

何のための段落？



④

要点

一番大切なことは？

言葉のつながり → 文のつながり → 段落の役割 → 文章の中心、の順に読み取ろう。

① 指示語を読む

読み方のコツ

指示語は前に出た言葉や内容を指し示す言葉です。指示語を具体的な言葉に置き換え、文の意味が通るか確かめましょう。

確認

美咲は図書館で本を借りました。その本には星の動きがわかりやすく説明されていました。「その本」が指すものは何ですか。

答え 美咲が図書館で借りた本

「その」を具体的な言葉に置き換えて意味が通るか確認する。

② 接続語を読む

読み方のコツ

接続語は前後の文や内容の関係を示します。理由と結果、反対、具体例、言い換えなど、どのような関係かを考えましょう。

確認

今日は朝から強い雨が降っていました。[] 予定していた校庭での観察は中止になりました。

ア しかし イ たとえば ウ そのため

答え ウ

雨が降ったことが観察中止の理由なので「そのため」が適切。

③ 段落の役割を見る

読み方のコツ

段落には話題を示す、理由を説明する、具体例を示す、内容をまとめるなどの役割があります。その段落が何のために置かれているかを考えましょう。

確認

「身近なところにも水を節約する方法があります。たとえば歯をみがく間に水を止めることです。」この段落の「たとえば」以下の役割はどれですか。

ア 意見を反対する イ 具体例を示す ウ 話題を変える

答え イ

一般的な説明のあとに具体的な行動例を示している。

④ 要点をつかむ

読み方のコツ

要点はその段落で最も大切な内容です。細かな例や理由だけでなく、「この段落を一文でまとめると何か」を考えましょう。

確認

「植物を育てるときは水の量だけでなく日当たりにも気をつける必要があります。日光が不足すると十分に育たない植物もあるからです。」この段落の要点はどれですか。

ア 植物を育てるには日当たりにも注意が必要だ

イ 植物には毎日大量の水が必要だ

ウ すべての植物は日光が苦手だ

答え ア

理由の部分ではなく段落全体で最も伝えたい内容を選ぶ。